

【 目標達成計画 】

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	身体重度化及び終末期ケアについて本人又はご家族の意向確認はできているが、関係者全員の共通認識や、今後の支援に伴う同意書の取得が必要である。	ケアに関わる全員が安心して最期まで介護できるよう、意向確認だけではなく各同意書等の作成を行い、ご家族様の理解を得る。	関係機関と相談し当事業所にあった看取り介護同意書等を作成し、ご家族様に今一度確認を行いながらサインをいただく。	3ヶ月
2	35	災害時の備蓄品の中で食料・水分はもちろんだが、現在法人での決められた備蓄品しかない為、利用者様1人1人にあった物の選定ができていない。	災害対策を見つめなおすとともに、事業所で出来る限りの備蓄品の確保を目指す。	利用者様の身体的特性に応じた食料品の選定や、常時投薬が必要な方については、備蓄品の中に常備薬の保存をする。	5ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月